日本経済新聞

2010年（平成22年）3月11日（木曜日）

南富士産業

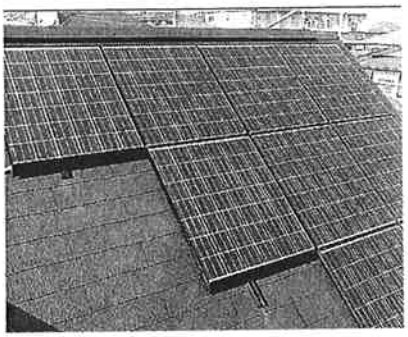
太陽光パネル設置に参入

屋根工事ノウハウ生かす

屋根工事などを手掛ける南富士産業（三島市、杉山定久社長）は4月、住宅や事業所の屋根向けの太陽光パネル設置工事に乗り出す。太陽光発電を導入したい企業や個人が増えているが、工事各社は取り付けなどで購入者の要望に十分に対応できていないと判断した。屋根工事の専門業者として取り付け工事を請け負い、収益源に育てる。

南富士産業は月間に約1000棟の屋根工事を受託しており、「様々な形状の屋根や太陽光パネルでも対応できるノウハウがある」（杉山社長）ため参入に踏み切った。

当面、太陽光パネルの施工だけを引き受ける。顧客が購入した太陽光パネルを既存の家や事務所の屋根に取り付け、電気の配線につなぐ。パネルを屋根にとめる手法を工夫し、設置後の雨漏りなどを未然に防ぐ。



様々な形状の屋根や太陽光パネルでも対応できる

設置前には屋根のカビやコケ、色あせや割れなどの状況を調べ、必要があれば補修する。取り付け後は1年に一回はメンテナンスに訪れるなど、アフターサービスに力を入れる。一般家庭であれば1～2日ほどで取り付けが終わり、価格は25万円程度になる見込みだ。

静岡や神奈川の両県でサービスを始め、営業拠点のある関東圏までサービス範囲を広げる。すでに複数の企業から引き合いがあるという。個人住宅でも取り付けに悩む顧客は多いと見て、月に約300棟の施工を目指す。実績を重ねた後、パネルの部材を中国から仕入れて取り付ける一貫サービスを視野に入れる。

太陽光パネルは量販店などが販売しているが、傾斜のある屋根への後付けは難しい。設置方法を間違えると、雨漏りなどが起こるおそれもある。